

今後の予定

介護予防

①立花1丁目健康の集い *申込み不要 無料	3月14日(月) 14時~ 4月 4日(月) 13時~ 5月 9日(月) 14時~	立花1丁目団地2号棟集会場 立花1丁目団地2号棟集会場 立花1丁目団地2号棟集会場	皆で散歩
②男性専用 ダンディエクササイズ *一回200円	3月23日(水) 14時~ 4月27日(水) 14時~ 5月25日(水) 14時~	会場 東京清風園 地域交流スペース	
③認知症予防講座 *無料	3月 7日(月) 13時30分~15時 * 事前申し込み必要 定員30名	立花ゆうゆう館	
認知症家族会 みかんの会 *無料	3月 3日(木) 14時~ 5月12日(木) 14時~	会場 たちばなホーム地下会議室	
男性介護者教室 ケアMENすみだ *無料	3月 3日(木)	時間: 13時30分~15時 場所: なりひらホーム2階	

介護者向け

地域包括ケア会議 3月4日(金) ①15時半~ ②19時~
テーマ「『認知症』になっても住み続けられる地域づくり」会場: たちばなホーム地下会議室

ケアマネージャー向け研修『高齢者支援総合センターとみまもり相談室を活用しよう!』(仮)
~センターと相談室の事業内容をCMのみなさまに理解していただき、身近な社会資源となるために~

5月

(撮影)

たちばなホーム
施設長羽生隆司

佐藤 伴子
(介護支援専門員)

木村 千枝子
(介護支援専門員)

村西 なおみ
(介護支援専門員)

高橋 波留美
(主任介護支援専門員)



上島 素子
(社会福祉士)

立川 周子
(社会福祉士)

お気軽に
ご相談ください

築山 佳代子
(看護師)

福原 レイ子
(介護支援専門員)

★問い合わせ先★

たちばな高齢者支援総合センター

開設時間: 月~土曜日 9時~18時(休: 日曜・祝日)

電話: 03-3617-6511



場所: 立花3-9-2



みか*ん*通信

第4号 平成28年2月発行

~たちばな高齢者支援総合センターだより~



たちばな高齢者支援総合センターです。

安心して、尊厳ある自分らしい生活を住み慣れた文花・立花で続けられるように!

わたしたちは、地域の住民、病院、様々なサービス事業所の方々と
『地域包括ケアシステム』の構築を目指しています。

今回のみかん通信は.....

- ① 地域包括ケアシステムって何? ... 国をあげての取り組みです。 考えてみませんか?
- ② 自分らしく、住み慣れた文花・立花で暮らし続けるための心構えって?
- ③ 「認知症になっても文花・立花で暮らすために」をテーマに地域包括ケア会議を開催!
- ④ 募集! 個別地域ケア会議 開催希望者 ケアマネージャーの皆さまのご協力を!

見守りや介護が必要となった一人ひとりの生活課題の改善は、地域に住む同じ状況の方の生活の改善につながります。地域包括ケアシステム構築のために、ひとりの生活から地域で考えませんか?

1 地域包括ケアシステム

高齢者のプライバシーと尊厳が十分に守られた「住まい」が提供され、その住まいにおいて、安定した日常生活を送るための「生活支援・福祉サービス」が必要かつ基本的要素としてあり、それらを土台として、専門職による「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」が効果的な役割を果たすシステムです。

5つの視点

(医療・介護・予防・生活支援・住まい)



自分らしく、住み慣れた文花・立花で

暮らし続けるための心構えって？

単身・高齢者のみ世帯が多くなる中で、在宅生活を選択することの意味を、本人・家族が理解し、そのために心構えを持つことが重要です。

「自宅で介護ということ」

「自宅で亡くなるということ」

とは、どういうことなのか？

理解や心構えができて初めて、地域包括ケアシステムの支援が役に立ちます。困ったことは何でもサービスや支援に頼るのではなく、自らでやるべきことや意識しておくべき点などをいざ困る前に考える時間を持ってみてください。

地域包括ケアシステム

5つの視点

(医療・介護・予防・生活支援・住まい)



「もしも・・・」に備えて・・・考えておきたいこと

- どこに住みたいか (自宅、子の自宅、高齢者向け施設などへの住み替え)
- 誰の介護を受けたいか (配偶者、子、親戚、介護の専門職など)
- 介護や入院資金はどうするか (年金や貯金、自宅の処分による捻出、子の援助)
- 緊急時、具合が悪くなったときは、近くに頼れる人、連絡先があるか
- 万が一、もしものときに備えて家族と話し合っているか
- 自宅の鍵をどこかに預ける必要があるか
- 親戚間で役割分担をしているか
- 介護保険サービスを理解しているか
- 困ったときの相談窓口を知っているか

参考：日本経済新聞 H27.7.30 夕刊

困ったときには・・・
たちばな高齢者支援総合センターへ

報告！地域包括ケア会議「認知症になっても文花・立花で暮らすために」



平成27年12月3日に午後と夜の2回に分けて会議を開催。民生委員16名・ケアマネージャー15名・デイサービス職員2名・病院職員13名・福祉用具事業所職員3名・施設職員3名・区職員1名のご出席をいただきました。「自分が認知症になったとき」を踏まえ、認知症の人にとってやさしい街づくりについて議論をしました。

【今後取り組みたいこと】

- ・気軽に立ち寄れる体操・趣味活動が継続できる居場所がある。気軽に外出できる支援。
- ・認知症に関する相談場所のPR活動。
- ・子供から大人まで全世代で認知症を正しく理解できるように繰り返し投げかける。
- ・地域住民や様々な職種が連携することで認知症の方を支えるネットワークを強化する。
- ・困ったときに声をかけてくれる見守りなど、地域のサポートがある街にする。

次回、平成28年3月4日には、上記内容をより具体的に取るために会議を予定しています。

募集！個別地域ケア会議

家族や近所の人、利用者を介護サービスのみでなく、地域で支えられないかな？と思ったら、お気軽にご相談を！

参考

文花・立花の高齢者人口・世帯数		高齢者(65歳以上)		
平成28年2月	全体人数	人数	高齢化率	世帯数
文花	10,684	3,017	28.2%	2,245
立花	20,615	5,551	26.9%	4,152
エリア内合計	31,299	8,568	27.4%	6,397
墨田区内	261,306	59,276	22.7%	44,505

施設入所者は含まず

世帯構成別	一人暮らし		高齢者のみ		その他	
	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数
文花	998	998	1,136	565	883	682
立花	1,869	1,869	1,904	944	1,778	1,339
エリア内合計	2,867	2,867	3,040	1,509	2,661	2,021
墨田区内	20,264	20,264	9,869	9,859	19,140	14,382

